

学体連会報

発 行 所

発行日・昭和57年6月15日
東京都渋谷区代々木神園町3番1号
国立オリンピック記念青少年総合センター内
財団法人日本学校体育研究連合会
編集責任者 理事長 新村 正雄

◆◆◆ 十周年は新しい出発点 ◆◆◆

会長 大石 三四郎



世界における科学技術の進展は、その速度において目を見はるものがあり、そして大きな成果をあげている。したがってその速度についていくためには、これからの研究所は、必要に応じて、その研究テーマの特質によって、研究所設立の時限を決定しようという傾向が強くなってきている。そして、これらの研究所に関連して起きる種々の試案が各方面で提起されるとともに勇敢に実施に移されて試行改革されているというのが現状である。これら今日の研究システムに関係して起きている論議は、いずれも現在の科学研究体制の現状での反省から出てくる研究の急速な変化に対応しようというのが本音である。したがって、今後、研究所として研究テーマによっては、無期限に定員数の若干の増減はあるにしても、現状の研究所という概念のもとで設置されることもあるであろうし、また、時限を定めて、研究員の増減に伸縮性をもたせるような研究所も設置されるであろう。そして更にすすめて、従来の研究所という概念から出発して、研究所の老化防止というだけでなく、研究の活性化を保つために現在の研

究所そのものの概念をも否定するような研究システムをもったプロジェクト・システムに重点を置き、そしてその課題が解決され次第、そのプロジェクト・システムを解散するというような研究体制が考えられよう。この他にも新しい研究体制の出現することが予想されるのであるが、それも世界の研究情報交換の方法や研究機器の新しい開発にともなっていて、いろいろの方法、組織が創出されることであろう。さて、このような、研究所を取りまく内外の研究体制の情報分析をもとに、私が現在所長をしている国立特殊教育総合研究所はどのように行くべきかを、この研究所設立の十周年を迎えて考えるべきだと思っている。そして、次の10年とはいわず、5年とも、3年とも一応の期間を設定して、現研究体制をどのように運営すべきかを思索する重要な機会に遭遇していると確信している。

昭和21年、日本学校体育指導者連盟として発足、25年に財団法人となり、37年財団法人日本学校体育研究連合会となったのが学体連は、今後どのような進路をとるべきであろうか。

全国表彰（優良校）都道府県推せんは7月10日（土）まで
功労者

第21回全国学校体育研究大会は、昭和57年10月14日（木）、15日（金）新潟市・新潟県民会館で全体会が、14の会場で分科会が行われる。14日は開会式に続いて、保健体育優良校・功労者の表彰式が挙行される。例年より1ヶ月余り早い。従って都道府県推せん委員会より学体連への推せん締め切りを7月10日（土）としている。くれぐれもお間違えのないよう、ご用意ください。

ご あ い さ つ

理事長 新村 正 雄

この度、皆様方のご推挙により理事長に就任いたしました。浅学菲才、未熟な私が、この大役をおおせつかりましたことに、大きな不安を感じますが、大石三四郎会長先生を始め、先輩諸先生方のご指導のもとに誠意をもって、その責務を遂行していく所存でございます。なにとぞよろしくご指導ご鞭達を賜りますようお願い申し上げます。

私は、台湾で生まれ育ち終戦後、鹿児島に引揚げ、昭和22年新制中学校発足のとき、体育教師として第一歩を踏み出しました。以来、運動好きで元気な心豊かな生徒の育成を目指してまいりました。

さて、私は一昨年の暮れから正月にかけて同級生18人と35年ぶりに母校を訪ねる機会を得ました。赤レンガの懐かしい校舎は、すでに近代建築に変わっていましたが、思い出多いグラウンドは昔のままの姿で私を迎えてくれました。ここで、くりひろげられた数々の思い出が走馬燈のように頭の中を駆けめぐり

ました。私の青春は、校庭にあったときえ思います。知らず知らず私は、ただ一人はだしになってトラックを走っていました。

仲間達と校長室で、通訳を通してのもどかしい話のやりとり、持参した京人形を贈ったこと、校庭の隅で校歌や応援歌を静かにうたった感激も忘れることは出来ません。そして学校時代の生活が風化しないで、今も脈々と私の体の中にあることをしみじみ感じました。私は、教師として最も大切なことは、生徒達にどんな喜びや感動を与えてやるかだということを確認しました。

最後に、この日本学校体育研究連合会が、全国の学校体育指導者の皆さんが、あたたかく心の通いあえる場として、また、学校体育に関する研究、調査の中核として益々充実発展することを心より祈念して挨拶いたします。

学 体 連 と は 何 か

事務局長 重田 一

I 学体連の目的と事業

学体連とはどういう団体かときかれた時、全国の小・中・高等学校の、幼稚園・盲・聾・養護学校の保健体育に関係の先生方は、どのように答えられるだろうか。

学体連は、正式には財団法人日本学校体育研究連合会という。終戦の年、昭和21年に日本体育指導者連盟として発足したのがそもそのスタート。25年に財団法人となり、昭和37年に財団法人日本学校体育研究連合会と改称して今日に至っている。従って今年改称されてから満20周年ということになる。改称された頃の事情については、会報第9号で鈴木正三副会長（学習院大学教授）が詳しく書いておら

れる。

寄附行為という言葉は、案外耳新しいものだと思う。広辞苑にはこう書いてある。「寄付行為……財産を提供して財団法人を設立する行為。必ず書面を以てすることを要し、この書面をもたず寄付行為という。この意味では寄付行為は社団法人の定款に相当し、記載事項も定款と大体同様」

財団法人日本学校体育研究連合会寄附行為（昭和51年11月17日から施行）にある目的第3条は、

「学校体育に関する研究調査ならびに学校における体育活動および体育研究活動」

に必要に応じて、学校体育の発展に

あ わ せ て 寄与する
学校体育指導者の資質向上を図る こと。
ために必要な事業を行い、
を目的とする。」となっている。
そのために何をするのかというと、第4条(事業)として次のことが挙げられている。
(1) 学校体育に関する研究調査
(2) 学校における体育活動および体育に関する研究活動の援助
(3) 学校体育に関する研究大会・講習会等の開催
(4) 加盟団体の活動援助
(5) 体育優良校および体育功労者の表彰
(6) 優良体育施設用具・用品等の認定および推薦
(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
そこで今年、次の事業を計画している。

昭 和 57 年 度 事 業 計 画

- 1 第21回全国学校体育研究大会
昭和57年10月14日(木)15日(金)新潟市・新潟県民会館他において開催
- 2 第32回全国保健体育優良校・第12回保健体育功労者表彰
昭和57年10月14日(木)第21回全国大会の開会式に続いて行う。
- 3 講習会
 - (1) 第2回障害児キャンプ指導者講習会
6月18日(金)・19日(土)・20日(日)
会場 東京YMCA山中湖センター
 - (2) 第13回全国学校体育指導者講習会
8月23日(月)・24日(火)・25日(水)
会場 新宿区立戸塚第二小学校
小学校 --- 基本の運動・表現運動
学習院大学
中・高等学校 --- 体操特に新体操
- 4 体育図書出版
- 5 助成事業
 - (1) 加盟団体補助
 - (2) 全国学校体育研究大会助成
 - (3) 「学校体育研究」の作成
- 6 学校体育用品ならびに体育施設用具の研究調査
- 7 会報等の発行

8 諸団体との連絡提携

1の第21回全国学校体育研究会。第21回全国学校体育研究大会は、各都道府県教育委員会で参加者と1人4,500円の参加費をとりまとめ、7月31日(土)までに新潟県教委保健体育課内の大会事務局に申し込む。研究主題は「生涯スポーツを志向した学校体育の推進をめざして」。分科会は幼1、小5、中4、高2、盲・聾・養護2計14。上越新幹線開通直前の行事となる。新潟の先生方は、今井会長をはじめ、協力一致して研究の推進と参加者の受け入れに懸命である。皆さんが新潟らしい大会をやらうと張り切っているので、私も応援しながら大いに期待しているのである。

2の優良校・功労者の表彰。去年は109校、117名だったが、今年はいくつになるか。新潟大会が10月14日となったので、これに合わせ、夏休みというブランクを考慮して、各都道府県推せん委員会からの推せん期限を7月10日(土)とした。中央審査委員会を7月20日あたりにやりたいと思っている。

3の講習会。障害児キャンプの指導者の講習会は、この会報がでる頃には実施直前というところか。国際障害者年といわれた昨年、初めて6月のこの時期に行ったが、参加者は少なかった。今年も、昨年と同様、3,000枚の要項を全国に配ったが、幾人の申し込みがあるか気がかりである。

学校体育指導者講習会は8月下旬。小学校は基本の運動・表現運動を新宿区立戸塚第二小学校で。オリンピック体操の選手だった塚脇伸作、塚脇(旧姓小口)澄子夫妻が講師。中・高校は学習院大学で体操特に新体操。オリンピック選手だった遠山喜一郎、加茂佳子、関田志保子、高橋衣枝の先生方が指導。小は小なりに、中・高は中・高なりに課題を持って参加されれば、必ず得るものがある。2日半に耐えられるように十分な配慮がされる筈である。

4の体育図書出版。教師による教師のためのスポーツ作文「スポーツ断想」が遠からず出るだろう。5の助成事業。

(1) 加盟団体補助は、各都道府県学校体育研究連合会(その他の名称もある)に研究活動の補助として、昨年度同様5万円を提供することになっている。

(2) 全国学校体育研究大会助成は、新潟県学校体育指導者協議会などが入って作られる、第21回全国学校体育研究大会新潟県実行委員会に、当年度分として100万円(前年度分50万円は昭和56年度中に支出済み)、神奈川県実行委員会に昭和58年度大会(第22回となる)に前年度分として50万円、計150万円を助成する。

(3) 「学校体育研究」の作成。学体連の機関誌なのに助成とはという疑問がおこるかもしれない。昭和57年3月31日付の「学校体育研究」第15巻は80万円、3,000部。これを各都道府県に無料で配布しているの、助成といえると考えている。

6の学校体育用品ならびに体育施設用具の研究調査。これは開店休業状態で見るとはなかつたが、今年はまだ少し前進するようにお願いしたい。

7の会報等の発行。56年度は16頁のを2回出したが、今年度は4回出す予定。6月、9月、12月、3月。1回15,000部。全国の小・中・高校に洩れなく届くようにとの希望があるが、昭和55年5月1日現在の学校数は次の通りであることを考えても、よいことだし、そうしたいのだが、先立つものが十分でないと言わざるをえない。都道府県では、実際の

全国公立学校数(昭和55年5月1日現在)

	小学校	中学校	高等学校
本 校	23,463	10,026	
分 校	1,244	130	
全 日 制			2,777
定 時 制			267
併 置 校			907
計	A 24,707	B 10,156	C 3,951

A+B+C=38,814校

ように配布され、どのように読まれているのだろうか。そして、一斉に東京から送られ、都道府県の小・中・高等学校に到着するのに幾日かかるのだろうか。微妙なところだが大事なことだと思う。

次第に全県の声が出るようにしたい。

8の諸団体との直接提携。日本体育協会、全国高体連、日本女子体育連盟、その他と、必要に応じて

直接提携して来た。

Ⅱ 学体連の財源

寄附行為第6条に賛助会員というのがあ

る。この法人に、賛助会員をおくことができる。

2 賛助会員は、この法人の目的に賛同して、その事業を賛助する個人または団体をいう。

3 賛助会員は、賛助会費を納入するものとする。

個人賛助会員には、賛助会費5万円(一時払い)の終身賛助会員と、その年度だけの賛助会費5,000円を出して戴く賛助会員がある。団体には、年額1口2万円以上を頂戴する賛助会員と、年額15万円と寄附金とを戴く特別賛助会員とがある。

特別賛助会員は2社1団体で、児島株式会社、明石被服興業株式会社、日本教育シューズ協議会がこれである。この他に、特に日本教育シューズ協議会からは、黒田理事長の、別途に格別のご配慮を戴き、正に干天に慈雨の思いがしたので終身賛助会員は57年度までに45名、一般賛助会員は74名、普通賛助会員は259社。この他に毎年、水野スポーツ振興会より多額の補助金を頂戴している。

以上はすべて、個人あるいは団体の浄財であり、これらの運用については、常に感謝とともに生きた活用を心掛けている。

また、加盟団体分担金が120万円入る。人口300万人未満の県からは2万円、300万人以上600万人未満は4万円、600万人以上が6万円の分担金を頂戴する。これは昭和56年度からで、それまでは実に1年間、昭和37年から55年まで、それぞれ1万円、2万円、3万円であったのである。

この他に、基本財産の利息、講習会受講料、図書出版の印税と編集費、雑収入、その他であった。

Ⅲ 今、思うこと

1 基本財産とともに、運用財産がふえること。3億円あると、現状のままならその利息で会の運営が可能である。現実には、賛助会員を1人でも多く、さらに1社でも加わってもらふことだ。

2 会報を充実させたい。全国の先生方が何を考え、何を望んでいるかを表現できるような場を作りたい。

3 年度末、小・中・高校の年間研究発表資料を頂戴したら、大変な量になった。これを上手に集大成して、全国へ関知する方法はないか。

4 全国学校体育研究大会をやるとうとする県が多すぎて、調整に困るというような時は来ないものか。当分来ないとすれば、その原因は何かをつきとめられないか、と考える。

5 学体連から外国に派遣するなどということは、ありうべからざる事か。

6 ブロックの研究大会がもっとふえるといい。関東地区では、中学校と高校が別々にやっている。近畿では高校が、中国・四国では一体になって小学校が、四国では中学校と高校が別々に、九州地区では小・中・高校が一体となってやっている。昭和59年度は沖縄県が開催県になっていると聞く。

●学体連の賛助会員について

財団法人日本学校体育研究連合会は、寄附行為第6条により、賛助会員をおき、賛助会費を頂戴している。この賛助会費が、各都道府県の加盟団体の補助金になったり、全国大会の補助金(現在は150万円)になったり、優良校・功労者の表彰に使われたり、経常費に充てられたりしている。

賛助会員には、個人の部と団体(会社)の部がある。個人の部には年度会費5,000円(昭和55年度までは3,000円)を戴く一般賛助会員と、一時会費50,000円(昭和55年度までは30,000円)を戴く終身賛助会員とがある。団体(会社)の部には、年度会費1口20,000円(昭和55年度までは10,000円)(幾口でも可)を戴く普通賛助会員と、年度会費150,000円(昭和55年度までは100,000円)と寄附金を戴く特別賛助会員とがある。

一般賛助会員は次の通りである。

□ 個人・団体ともに敬称省略

()内は住所あるいは所在地

昭和52年度――

- 木村 福賢(埼玉県) 立津 時男(宮古平良市)
- 酒井 健一(長井市) 森山 實(長崎県)
- 土田 悦郎(滋賀県) 米田 満(山形市)
- 山田 義雄(佐賀市) 松山 守(大分市)

- 松本 得爾(尼崎市) 領家 篤(島根県)
- 宝田 利次(岡崎市) 以上11名
- 昭和53年度――

- 大島 外治(国分寺市) 山田 忠一(加古川市)
- 村岡 裕(東京都) 嶋 一郎(香川県)
- 千葉 和美(青森市) 南 三千雄(泉南市)
- 諸星 虎治(大和市) 宮崎貞次郎(千葉県)
- 栗田 秋生(熊本県) 深川 泰秀(福井県)
- 花輪 民夫(甲府市) 塩田 禎男(大宮市)
- 前田 真一(沖縄県) 天野 昂(鶴岡市)
- 小宇佐文夫(宇佐市) 桜井 秀男(堺市)
- 荒川 大(広島県) 船石 一雄(別府市)
- 以上18名

昭和54年度――

- 荒井 伸男(水戸市) 鈴木 博(千葉県)
- 高井 房子(徳島県) 鈴木 明晴(神奈川県)
- 安野 悛次(山形県) 渡加 忠美(松江市)
- 三嶋 光(十和田市) 古川 留市(島原市)
- 尾西 敏雄(明石市) 村岡 裕(東京都)
- 南 三千雄(泉南市) 船石 一雄(別府市)
- 松浦 利夫(国立市) 辻江 正夫(大阪市)
- 以上14名

昭和55年度――

- 阿部 英一(横浜市) 坂本 春雄(熊本県)
- 星 亀雄(福島県) 小石沢 正(塩山市)
- 根田 栄(盛岡市) 松川喜久治(宮崎市)
- 木村 隆一(札幌市) 以上7名

昭和56年度――

- 土屋 純夫(茂原市) 本多 正秀(長崎県)
- 友綱 吉信(府中市) 鈴木 稔雄(豊橋市)
- 片平 市朗(千葉県) 相馬 斎(弘前市)
- 寺坂 茂治(鳥取市) 佐藤兼次郎(函館市)
- 大浜 裕子(浦添市) 小川 肇(前橋市)
- 以上10名

昭和57年度(4月末日現在)

- 喜多茂一郎(鳴戸市) 前島 重雄(浜松市)
- 山本 利之(相生市) 笹井孝太郎(滋賀県)
- 梅本 俊芳(鶴岡市) 山田 直一(名古屋市)
- 塩田久仁夫(熊本県) 野田 秀豊(富士吉田市)
- 大島 初江(神奈川県) 亀若 竹雄(宝塚市)
- 田熊 瑞子(鳥取県) 平井 輝夫(埼玉県)
- 以上12名

終身会員

また、終身会員としては、設けられて今日に至るまで、次の方々のご協力くださっている。

昭和51年度

今村 嘉雄(坂戸市) 以上1名

昭和52年度

坂井田逸治(川崎市) 峯 友直(浦和市)
加藤 為吉(舞鶴市) 近藤 緩子(茨城県)
真坂 寅雄(京都市) 青池 清一(福井県)
村上 亀恵(東京都) 以上7名

昭和53年度

松本 博(浜田市) 牧山伊三郎(唐津市)
松原アユミ(太田市) 小川 廣雄(小金井市)
川津 正康(長崎市) 米田 良逸(弘前市)
翁長 維行(具志川市) 舛谷 晴夫(長崎市)
安在武八郎(山形市) 岡田 三郎(前橋市)
古川 克巳(兵庫県) 奈良 くり(札幌市)
村上 繁(高知県) 坂井 長雄(村山市)
吉野 次雄(大村市) 岡部 きん(古河市)
近藤 緩子(茨城県) 以上17名

昭和54年度

渡部 咲子(松江市) 二宮 府子(東京都)
藤野 桜子(東京都) 山崎 勝(神奈川県)
鈴木 武雄(いわき市) 小塚 弘良(名古屋市)
川口 堀夫(長崎市) 以上7名

昭和55年度

川田 正徳(札幌市) 岩崎 正春(横浜市)
酒井 一九(東京都) 沼館 定康(狛江市)
井上 重人(北九州市) 垂井 治子(東大阪市)
鎌田 治男(館林市) 以上7名

昭和56年度

吉井 忠亮(秋田市) 松沢 道彦(山形市)
重田 一(東京都) 以上3名

昭和57年度(5月末日現在)

相川 茂(館林市) 鈴木 勇(福島県)
鈴木 信(調布市) 以上3名

また、団体・普通賛助会員、団体・特別賛助会員は次の通りである。特に、昭和56年度のみを示す。

昭和56年度 団体・普通賛助会員

Table with 3 columns: 会社名, 所在地, 代表者. Lists various companies and their representatives.

昭和56年度 団体・特別賛助会員

日本学校体育振興会。これを次の2社1団体が形成している。

Table with 3 columns: 会社名, 所在地, 代表者. Lists member organizations and their representatives.

児島株式会社コロバイングループ一覧

Table with 3 columns: 会社名, 所在地, 代表者. Lists branches of Eshima Co., Ltd. and their representatives.

明石被服興業株式会社ヨットグループ一覧

Table with 3 columns: 会社名, 所在地, 代表者. Lists branches of Akashi Clothing Industry Co., Ltd. and their representatives.

Table with 2 columns: 番号, 会社名. Lists various companies and their numbers.

Table with 2 columns: 番号, 会社名. Lists various companies and their numbers.

日本教育シューズ協議会グループ一覧

日本教育シューズ協議会関係

Table with 3 columns: 会社名, 所在地, 代表者. Lists member organizations of the Japanese Education Shoes Association and their representatives.

- 27 ㈱丸大 名古屋市 伊藤 卓三
- 28 山本被服㈱ 静岡県 山本 安彦
- 29 静岡柴田㈱ 静岡市 柴田 弘一
- 30 ㈱ラッキーえびな 岐阜市 海老名利康
- 31 双和商事㈱ 上野市 井上 久雄
- 32 ㈱日下部商店 姫路市 日下部斐郎
- 33 三興商事㈱ 近江八幡市 佐田 長雄
- 34 和歌山県事業本部(内畑) 和歌山市 内畑 瑛造
- 35 ㈱大塚ユニホーム 神戸市 大塚 芳郎
- 36 小倉株式会社(小倉) 岸和田市 小倉 十吉
- 37 ㈱富士商店 茨木市 中村 光男
- 38 ㈱ワキタ 大阪市 脇田 博之
- 39 大阪事業本部 吹田市 八木下房男
- 40 黒田㈱ 岡山市 黒田 浩平
- 41 ㈱日本教育シューズ 松山市 弓立 英夫
- 42 広島県事業本部(藤井) 広島市 藤井 義久
- 43 関西商榷㈱ 福山市 小林 茂敏
- 44 ㈱マルニシ商会 鳥取市 西尾 益男
- 45 松川商事㈱ 出雲市 松川 政夫
- 46 山口県事業本部(宮本) 山口県 宮本 靖彦
- 47 ㈱和合商店 鹿児島市 和合 親治
- 48 福岡県事業本部(弥生) 福岡市 弥生吉之資
- 49 三坂商事㈱ 福岡市 坂田 稜
- 50 キショウ堂帽子店 北九州市 瀬川恵美子

- 51 ㈱ヒゼンメイト 佐賀市 音成 辰昭
 - 52 ㈱孫右エ門商店 唐津市 山口 信夫
 - 53 与田本店 柳川市 与田 邦雄
 - 54 ㈱大分教育シューズ 別府市 屋舖 勝敏
 - 55 熊本県事業本部(橋口) 熊本市 橋口 弘
 - 56 宮崎県事業本部(田口) 都城市 田口福三郎
 - 57 ㈱豊後屋 延岡市 大平 孝一
 - 58 川原商事㈱ 佐世保市 川原 義治
 - 59 長崎県事業本部(藤家) 長崎市 藤本 担士
 - 60 神龍県事業本部(仲吉) 那覇市 仲吉 朝清
 - 61 アキタスポーツ㈱ 秋田県 草薙 誠一
 - 62 ㈱遠藤商店 郡山市 遠藤 謙介
 - 63 牧野本店 豊橋市 牧野 源治
 - 64 近畿ヨット㈱ 大津市 明石 章
 - 65 横浜通商㈱ 横浜市 松岡 謙
 - 66 室田ゴム商会 富山市 室田 潔
 - 67 森下武士商店 武生市 森下 武士
 - 68 ㈱南越 武生市 中村 栄吉
 - 69 ㈱オーエム商会 守口市 前田 潔
 - 70 ㈱番原商店 津山市 井上 峻
 - 71 ㈱若越 敦賀市 徳本 道輝
 - 72 日本教育シューズ協会 岡山市 黒田 浩平
- 本部事務局
以上の他に賛助会員ではないが、水野スポーツ振興会より、毎年多額の補助金を頂戴している。

❖ 昭和57年度 第21回全国学校体育研究大会要項 ❖

- 1 趣 旨
学校体育は、我が国の次代を担う児童生徒が生涯を通じて運動に親しみ、実践する態度や能力を育成するために重要な役割をもっている。
本大会では、生涯スポーツを志向した学校体育の推進を主題とし、研究発表および研究協議を行い、今後の学校体育の充実発展に資する。
- 2 主 催
文部省、勅日本学校体育研究連合会、新潟県教育委員会、新潟市教育委員会、新潟県学校体育指導者協議会
- 3 主 管
第21回全国学校体育研究大会新潟県実行委員会

- 4 期 日
昭和57年10月14日(木)・15日(金)
- 5 会 場
(1) 全体会場(第1日目)新潟県民会館 ※予備会場・新潟市体育館
(2) 分科会場(第2日目)新潟市内の小・中・高等学校等
- 6 参加者
学校体育指導者及び保健体育行政関係者等
- 7 研究主題
「生涯スポーツを志向した学校体育の推進をめざして」
- 8 日 程

日	時	8:40	9:30	11:00	12:00	13:30	15:00
10月14日		受付	開会式 表彰式	講演(1)	昼食 (演技公開)	講演(2)	都道府県 代表者会議
会 場		新潟県民会館					
日	時	9:30	12:00	13:00	15:30		
10月15日		受付	分科 (公開授業)	会 屋食	分科 (研究発表・協議)	会	
会 場		各分科会々々場					

- 9 講演
(1) 「私と体操競技」 筑波大学講師 加藤沢男
(2) 申込み期日 7月31日(土)
- 12 参加費
1名につき4,500円(紀要、指導案、会員票等を含む)
- 13 大会事務局
〒951 新潟市一番堀通町5924新潟県教育委員会保健体育課内
☎0252-23-5511 内線 3680
- 14 その他
(1) 参加申込み者に対する領収書・紀要引換券・宿泊券は、近畿日本ツーリスト㈱新潟営業所学体研係より、参加者あてに直接送付する。(紀要引換券、宿泊券は大会当日必ず持参されたい。)
(2) 第1日、第2日とも各会場での駐車はできないので了承されたい。
(3) 日本学校体育研究連合会に推薦した全国表彰の受影予定者の参加については、各都道府県がとりまとめの上 月 日までに、参加費1名につき4,500円を添えて申込まれたい。
- イ 振込み先
第四銀行新潟駅前支店 口座番号1032416
近畿日本ツーリスト新潟営業所学体研係
大塚浩一
☎0252-41-6161

別紙

分科会研究主題及び講師

部会	会場番号	部会研究主題	分科会協議題	指導助言者	研究(提案)発表者	会 場	司 会 者
幼稚園	1	体を動かして遊ぶことの好きな子どもを育てるにはどうすればよいか。		新潟県立新潟女子短期大学助教授 松木 真言	新潟市立牡丹山幼稚園 内海 豊子	新潟市立沼垂幼稚園	斎藤 準治 新潟市立二葉幼稚園長
	2		夢中になって運動に取り組み工夫をこらしてよりよい動きづくりを目指す子どもにするにはどうするか。(基本の運動)	筑波大学教授 大木昭一郎	新潟市立鏡淵小学校 高橋 信 上越市立南本町小学校 川上 信	新潟市立鏡淵小学校	貝谷 東吾 新潟市立大形小学校長

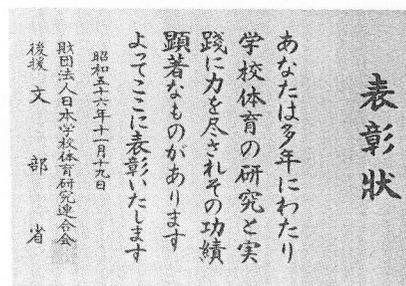
小 学 校	3	興味・関心や能力に応じた課題をもって意欲的に運動にとりくむ子どもにどうするか。(器械運動)	新潟大学教育学部助教授 佐藤 勝弘	新潟市立栄小学校 小千谷市立山谷小学校	小池 利雄 羽鳥 和男	新潟市立栄小学校	阿部 英昭 新潟市立新潟小学校教諭	
	4	生き生きと表現する子どもにするにはどうするか。(表現運動)	新潟大学助教授 福原 昌恵	新潟市立小針小学校 新潟市立坂井輪小学校	上村 宏之 小林 美智	新潟市立小針小学校	佐藤 敏子 新潟市立有明台小学校教諭	
	5	進んで体力づくりに取り組む子どもにするにはどうするか。(体力づくり)	新潟大学教育学部教授 中山 仁	新潟市立山の下小学校 上越市立国府小学校	田村 功 角張 修	新潟市立山の下小学校	渡辺 愿 新潟市立下山小学校長	
	6	子どもが意欲的に取り組む課外クラブの運営するにはどうするか。(課外クラブ)	新潟大学教育学部教授 林 利八	新潟市立女池小学校 西川町立仙田小学校	清田 広文 桑原 正	新潟市立女池小学校	富井 彪 新潟市立牡丹山小学校長	
	中 学 校	7	種目の特性を重視した段階的指導の工夫をどうするか。(陸上競技)	新潟大学教育学部教授 内藤 信雄	新潟市立木戸中学校 相川町立金泉中学校	大谷 実 高野 正也	新潟市立白新中学校	近藤 勝寛 朝日村立高根中学校教頭
		8	ゲームの質を高めるための集団技能の指導をどうするか。(バレーボール)	新潟大学教育学部教授 藤田 修一	新潟市立山の下中学校 三条市立三条第三中学校	長谷川幸雄 布施 勝二	新潟市立関屋中学校	鈴木 晏 新潟市立五十嵐中学校教諭
9		ダンスの学習における動きの広め方、深め方をどうするか。(ダンス)	新潟上越教育大学助教授 津田 史枝	新潟市立小新中学校 五泉市立五泉北中学校	土屋 道代 梅田 キミ	新潟市立寄居中学校	鈴木 弘美 新潟市立上山中学校教諭	
10		能力に応じた対人技能を高める指導をどうするか。(格 技)	東京都立航空高等専門学校教授 松川 哲男	新潟市立小針中学校 新潟市立藤見中学校	堤 俊雄 長沢 宗英	新潟市立中野小屋中学校	土田 弘 新潟市立東新中学校教諭	
高 等 学 校	11	生涯スポーツを志向した主体的な態度を育てる教科体育の指導をどうするか。	文部省体育官 島 喜八	県立吉田商業高等学校 県立新潟向陽高等学校	阿部 広司 小柳 克彦	新潟市立高志高等学校	宮本 盛男 県立相川高等学校教諭	
	12	生涯スポーツを目指す課外体育活動の運営をどうするか。	東海大学教授 井上 一男	県立新潟江南高等学校 県立坂尾高等学校	大矢 三郎 岩本 祐大	新潟県立南高等学校	渡辺 建夫 県立糸魚川高等学校教頭	
養 護 ・ 盲	13	障害にまげず生き生きと運動する子どもを育てるにはどうすればよいか。 疾病の状態に応じて遊びや運動に参加させる指導方法の工夫をどうするか。	新潟大学教育学部助教授 杉本 英夫	県立立上校 立上校田校 立上校月ヶ丘校 立上校上野校 立上校新立校 立上校立上校	上野 菊代 板垣 勝雄 田辺 一幸 杉本 勝弘 片桐 靖孝	新潟県立新立小学校	阿部 靖 新潟大学教育学部附属養護学校教諭 高橋 靖夫 県立新潟養護学校教頭	

養 護 学 校	14	障害にまげず生き生きと運動する子どもを育てるにはどうすればよいか。	障害の実態に適切な運動のとり上げ方とその指導をどうするか。	前新潟県立新潟養護学校校長 岡田 正美	県立長岡養護学校 佐藤 仁 県立新潟養護学校 菅原 浄子 県立吉田養護学校 小柳 直哉	新潟県立新立養護学校	小 熊 立 学 校 中 立 学 校 高 橋 立 学 校 田 教 諭 新 教 諭 尚 護 諭 論 尚 護 諭 論 尚 護 諭
							昭夫 岡論 盛男 新潟論 新教諭 尚護諭 高橋立学 田教諭

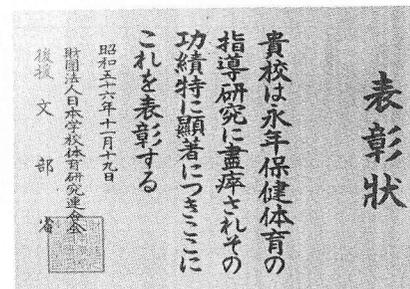
▶▶ 表彰式・表彰状の書式についてご意見をお寄せください! ◀◀

(1) 表彰式をどこに入れるか。
文部省では最近、文部省主催行事を見直そうとしている。そのひとつに、学体連と共催の全国学校体育研究大会の開会式に引きつづいて行って来た全国保健体育優良校、功労者の表彰式(表彰式をすることを文部省は後援して来てくれている。)を、主催行事のなかから別のところに出してはどうかというのである。4月20日の評議員会・理事会でもこの件でご意見を伺ったが、まとまらないで終ったし、その前の常務理事会(昭和57年2月26日)でも意見の一致をみなかった。
文部省は、開会式前にやるか、どこか適当なところに位置づけるようにという。
開会式前にやれば、一般参加者が従来より減少しないか。折角表彰されるなら、より多くの参加者の前だというのが、従来開会式のあとにやって来た理由だと思う。2日目は分科会なので、表彰を受ける

方々だけの表彰式ならやれないことはない。また第1日目の大会が終わった直後に行くことは不可能ではないと思う。密着に言えば大会は続いているわけだが、しかし、そのあとに代表者会議が待っている。そこで次のなかから1つを選んで、ご意見をお寄せ下さい。
11 表彰式は、従来通り開会式に続いてやるのがよい。
12 表彰式は、第1日、開会式前に全体会場でやるのがよい。
13 表彰式は、第1日終了後すぐに全体会場でやるのがよい。
14 表彰式は、第1日終了後、場所を改めて表彰を受ける者と直接の関係者だけでやるのがよい。
15 その他(具体的に)
(2) 表彰状の書式について
表彰状は写真のようになっていた。



表彰状から「後援 文部省」をとったらどうかと文部省はいう。私は同感。ところが、印を押しでない「後援 文部省」でも、あった方が有難いのではないかとおもんばかる人がいる。そこで次のなかから1つを選んで、ご意見をお寄せ願いたい。但し、不可能のこともありうるようである。



表彰状の最後は
21 財団法人 日本学校体育研究連合会 会長 ○○○○ 団
22 財団法人 日本学校体育研究連合会 団 } 従来
後援 文 部 省 } 通り

- 23 財団法人 日本学校体育研究連合会
文 部 省
- 24 財団法人 日本学校体育研究連合会
文 部 省 国

- 25 財団法人 日本学校体育研究連合会
会 長 ○ ○ ○ ○ 国
- 文 部 大 臣 ○ ○ ○ ○ 国
- 26 その他 (具体的に)

全 国 大 会 (昭和59年度以降)
い ず こ へ

東京で2年連続して全国大会を引き上げたのは、欠番にしたいくない気持ちが働いていたのだが、そのあと第20回を大阪、第21回を新潟(昭和57年度)、そして第22回は神奈川県が引き上げて下さる。そのあとが仲々出て来ない。

配慮しなければならないのは、57年度以降5~6年間、どの県でどのような大会があるかということである。62年度までは次のようになっているので、昭和59年度全国大会は、この表にある県は先ず困難と考えるべきであろう。

第21回(昭和57年度)以降の全国大会開催予定県

年度 大会略称	57	58	59	60	61	62
学 体 連 全 国 大 会	新 潟	神 奈 川				
高 体 連 全 国 大 会	鹿 児 島	愛 知	秋 田	石 川	山 口 (予定)	北 海 道
体 国 協 体 連 全 国 大 会	島 根	群 馬	奈 良	鳥 取	山 梨	沖 縄
女 体 連 全 国 大 会	秋 田	宮 崎	石 川			

今までどのような順で全国大会が実施されて来たかは、上の表と次の表および地図が明確に示している。

どこか名乗りをあげて引き上げて下さる県あるいはブロックはないものでしょうか。

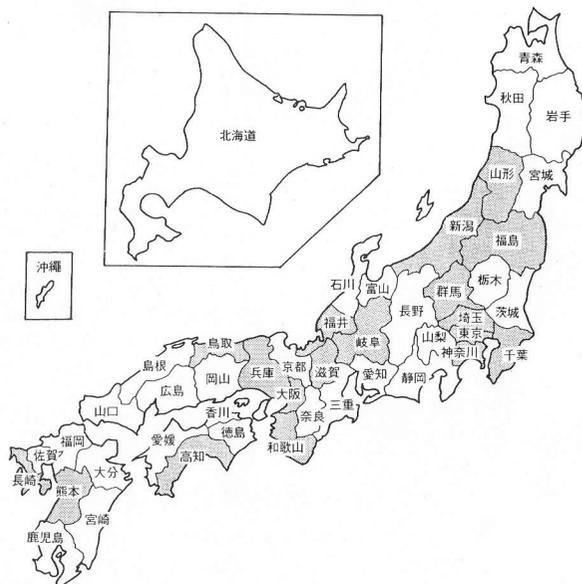
- 県独自のやり方で開催すること、結構。
- 金をあまりかけないでやること、結構。
- 創意工夫の全国大会となること、賛成。

是非速かに、学体連事務局にご希望の旨を申し出ていただきたい。ご希望が出て来るよう、積極的なご協力を都道府県ごとにお願ひしたい。

全国学校体育研究大会東・中・西部別開催一覧
(昭和58年度まで)

年度	回	東	中	西
昭和37	1	千 葉		
38	2		兵 庫	
39	3			鳥 取
40	4	東 京		
41	5		岐 阜	
42	6		大 阪	
43	7	福 島		
44	8			高 知
45	9			長 崎
46	10	埼 玉		
47	11		福 井	
48	12		和 歌 山	
49	13	山 形		
50	14	東 京		
51	15		滋 賀	
52	16			熊 本
53	17	群 馬		
54	18	東 京		
55	19	東 京		
56	20		大 阪	
57	21		新 潟	
58	22	神 奈 川		
59	23			

全国学校体育研究大会開催一覧 (■は開催県)



第13回全国学校指導者講習会

- 1 期日 昭和57年8月23日(月)・24日(火)・25日(水)
- 2 会場・小学校の部
東京都新宿区立戸塚第2小学校/東京都新宿区高田馬場1-25-21/電話 03-200-4324・6600
中・高校の部
学習院大学/東京都豊島区目白1-5-1/電話 03-971-8989
- 3 講師と日程・実技の内容

小 学 校 の 部	講 師 班	第1日(8月23日)		第2日(8月24日)		第3日(8月25日)	
		10:00~12:00	13:30~15:30	10:00~12:00	13:30~15:30	10:00~12:00	12:00~12:30
塚脇伸作 早稲田大学 教授	A 班	①基本の運動 低学年の運動 用具をもった 体操 力だめし 指導法	②基本の運動 中学年のとび 箱・マット・ 鉄棒などの運 動 指導法	③ に 同 じ	④ に 同 じ	指導のあり方 質 問 ま と め	閉 講 式 修 了 交 解 付 散
	B 班	③中学年の表現 運動 指導法	④高学年の表現 運動 指導法	① に 同 じ	② に 同 じ		

中 ・ 高 校 の 部	講 師	第 1 日 (8月23日)			第 2 日 (8月24日)		第 3 日 (8月25日)		
		10:00~ 10:50	11:00~ 12:00	13:30~ 15:30	10:00~ 12:00	13:30~ 15:30	10:00~ 12:00	10:00~ 12:00	12:00~ 12:30
	遠山喜一郎 前東京女子体育大学教 授 加茂佳子 東京女子体育大学教授 関田志保子 東京女子体育大学講師 高橋衣枝 同 上	新体操 の 理 論	手具を持 たない 基本運動 指 導 法	ボールを 使った 手具体操 指 導 法	なわを 使った 手具体操 指 導 法	輪をを 使った 手具体操 指 導 法	第 1 日~ 第 2 日 実 技 の ま と め	第 1 日~ 第 2 日 の 実 技 ま と め	閉 講 式 修 了 証 交 付 解 散

- 4 定員 小学校の部 60名 中・高校生の部 60名
 5 会費 5,000円也 (資料費、講師謝金、会場費、雑費にあてる。)
 6 申込 会費を添えて下記あて申し込む。
 〒151 東京都渋谷区代々木神園町 3-1
 国立オリンピック記念青少年総合センター内
- 日本学校体育研究連合会 電話 03-467-3954
 会費振込先 第一勧業銀行代々木支店
 普通預金講座 №1364078
 財団法人 日本学校体育研究連合会
 会長 大石三四郎
- 7 申込期限 7月20日 (火)

学体連からのお知らせ

学体連の事業の一環として、昨年(1987)の5月から10月に刊行した『現代小学校体育全集(全13巻)』(ぎょうせい刊)は、全国の先生方より“内容はもとより、見やすさ、使いやすさにおいて、他の追随を許さない好著”と大好評を博しています。

本会におきましても、各都道府県の会長をはじめ、傘下の先生方、関係者等の協力を得て編まれた画期的な全集と自負していますが、これもひとえに関係各位の絶大なご尽力のたまものと深く感謝いたしております。

ようやく新学習指導要領の趣旨が徹底し、地に着いた授業を指導されていることと存じますが、よりいっそうの充実と確固とした授業展開や研究を目指しておられる先生方、学校におかれましては、是非とも座右の書としてお備えいただき、学校体育の向上・発展のためにも大いに活用いただきたいものです。

本全集の内容構成等は、本誌末尾に掲出の広告のとおりです。今、お申し込みいただきますと完結記念学体連あっせん特価35,100円でお求めになれます。

なお、お申し込み等は、学体連事務局宛か下記の発行元へ直接お願いします。

学体連事務局：〒151 東京都渋谷区代々木神園町 3番1号
 国立オリンピック記念青少年総合センター内

(財)日本学校体育研究連合会
 TEL 03(465)3954

発 行 元：〒162 東京都新宿区西五軒町52
 (株)ぎょうせい 営業課
 TEL 03(268)2141(代)

 **Columbine**

コロンバイン

着る身になって良い品づくり

コロンバイン®

スポーツウェア

(財)日本学校体育研究連合会特別賛助会員

児島株式会社

倉敷市児島小川2丁目4番60号 TEL(0864)72-2830(代表)
 営業所 (名古屋・東京・大宮・盛岡・札幌)

(財)日本学校体育研究連合会特別賛助会員

明石被服興業株式会社

本 社 〒711 岡山県倉敷市児島田の口1-3-44 (0864)77-7701
 東 京 支 店 〒103 東京都中央区東日本橋1-4-10 (03)861-1917
 福岡営業所 〒812 福岡市博多区豊2丁目 (092)451-6920
 宇部営業所 〒759-02 山口県宇部市厚南区際波 (0836)41-7311

 Yacht®

準教材としての体育衣料 (Yacht® スポーツウェア)



真面目な学生服 **富士ヨット学生服** 女性服

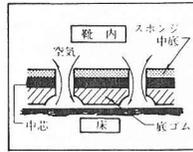
 YACHT

スクールカッターシャツ、開衿シャツ、ブラウス、その他布帛

～ 斯界の待望にんえ、
絶讚をあびて遂に登場した～

呼吸シューズ

○実公報 昭53-40340号
○商公告 昭54-14325号
○意願 3895号



(体育館用・
上ばき用)

(サイズ)
14.0～27.0

(カラー)
青赤緑黄白

3つのドキュメント

- 靴底に絶えず新鮮な空気の流れる……………呼吸シューズ
- 運動の度に吸気、排気を忠実に実行する……………呼吸シューズ
- 靴底に輝かしい光のさし込む……………呼吸シューズ

(財)日本学校体育研究連合会特別賛助会員

日本教育シューズ協議会

日本学校体育研究連合会が総力を結集して理論と實際を解説

現代小学校体育全集

[全13巻]

<新学習指導要領準拠>

日本学校体育研究連合会＝編集

全13巻セット定価39,000円(千実費)

- 1 学校体育 3,200円(千300)
- 2 基本の運動 5,000円(千350)
- 3 ゲーム 2,900円(千300)
- 4 体操 2,900円(千300)
- 5 器械運動 2,900円(千300)
- 6 陸上運動 2,900円(千300)
- 7 水泳 2,200円(千250)
- 8 ボール運動 2,900円(千300)
- 9 表現運動 2,900円(千300)
- 10 保健、スキー・スケート 2,900円(千300)
- 11 障害児の体育指導 3,200円(千300)
- 12 教科外体育 2,900円(千300)
- 13 体育指導の課題と解決 2,200円(千250)

●造本・体裁ⅡA5判・上製ケース入り・横組
各巻平均300、350頁(第2巻「基本の運動」
770頁・第7巻「水泳」192頁)



株式会社 きんぎょせい
東京都新宿区西五軒町五丁目二番二号 電話(03)3361130(大代表) 振替東京ナナ区